

平成29年度 多文化共生地域づくり事業
「医療機関における外国人への支援講座（語学ボランティア勉強会）」報告

鹿児島県内には平成29年度6月末現在で8,364人の外国人が在住しており、年々増加傾向にある。県内に在住する外国人の増加に伴い彼らを取り巻く環境において、日本語の習得や医療、防災など様々な問題が顕在化してきている。

今般、医療機関受診時の際の外国人支援に対する語学ボランティアや医療機関等の理解促進を目的とした講座を実施した。講座では、医療機関での基本的な通訳技術と通訳の際の心得を学び、参加者の医師や看護師等に協力を得て医療機関を想定したロールプレイを実施した。

(日程)

平成29年12月17日(日) 10:00~12:30

(講師)

特定非営利活動法人多言語社会リソースかながわ
副理事長 岩元 陽子氏

(参加者内訳)

計31名 日本人：12名／在住外国人等：11名／医療機関：8名
(5カ国・地域：アメリカ・フィリピン・中国・台湾・帰国子女)

(講座の様子)



【MIC かながわ岩元講師の講義の様子】



【グループで人体クイズをしている様子】



【ロールプレイについて参加者が講師に質問をしている様子】



【ロールプレイの様子】